



令和7年度会長 稲 裕樹

この度、福井高専教育後援会の会長を務めさせていただくことになりました稲裕樹と申します。皆様の温かいご支援とご期待に感謝申し上げますとともに、その責任の重さを痛感しております。会長としての私の目標は、福井高専がこれからも地域に信頼される教育機関であり続け、学生たちが安心して学び、成長できる環境を整えることです。

現代の社会は急速に変化しており、その中で技術者の役割はますます重要になっています。そのため、私たち教育後援会は、さまざまな考えを持つすべての学生が、その可能性を最大限に発揮できるよう支援することを目指しています。地域の企業や団体との連携を強化し、学生が実践的な技術を習得できるよう努めます。卒業後は地域の発展に貢献できる環境を整え、学生たちが安心して学び、成長できるようサポートします。また、学生が世界で活躍できる技術者として成長するために、国際交流プログラムを推進し、最新の技術を学ぶ機会を提供します。学生たちが安心して学び、成長できる環境を整えることが私たちの使命であり、皆様の温かいご支援が何よりの力となります。

学生の皆さん、皆さんが技術者として成功するためには、コミュニケーション力を向上させることが非常に重要です。円滑なコミュニケーションは問題解決能力や協力の精神を育む基盤となり、職場での成果やチームワークに欠かせません。さらに、国際的な視野を広げることの重要性も強調したいと思います。世界の動向に目を向け、様々な国の文化や価値観を理解することは、グローバルな視点を持つ技術者として成長するための鍵となります。そして、社会人としての自覚を持ちながら責任感を持って行動することで、地域社会や国際的な舞台で活躍できる技術者として成長することができます。これらの取り組みを通じて、皆さんが将来のリーダーとして活躍できるよう全力で支援します。

最後に、後援会の皆様には、今後とも変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。皆様とともに、福井高専のさらなる発展を目指し、力を尽くしてまいります。